

ユネスコスクールとして持続可能な開発のための教育への継続そして挑戦

明日は今年度1回目の「お話を聞く会」です。
テーマは「ユネスコスクール」です。

冒頭、青葉通りの写真を紹介します。連休中、天気もよかったので、今週末の仙台国際ハーフマラソン大会のコースをのんびり試走してみました。写真はその時に撮ったものです。

久しぶりに晩翠草堂を覗いてみると何とも言えず違和感がありました。そうです、以前はそこにあったはずのユネスコ協会のビルがなくなっていたのです。

子どもたちには、民間ユネスコ運動発祥の地としての「跡地」と榴岡公園にある「ブーツの娘」(佐藤 忠良 作)を紹介します。そこで、

戦争は人の心の中で生まれるものであるから、人の心の中に
平和のとりでを築かなければならない

という、ユネスコ憲章が銅像とともに刻まれていることに触れます。
※このあたりは難しいところなので、担任の先生から学級で補説して
いただけると助かります。

そして、附属小もこのユネスコと大変つながりがあって、2007年に宮城県で最初のユネスコスクールに認定されていることを紹介します。

※本校がユネスコスクールに申請した経緯は、平成30年1月30日の前見上学長の校内研修講話「附属小のESD講話 接続可能な開発のためのESD」を参照願います。

説明ばかりだと難しいので、昨年度まで本校で取り組んできた持続可能な開発の教育を3つの柱から紹介します。

1つはたてわり活動です。今日もたてわり昼食でしたが、異年齢集団でのたてわり活動は本校の持続可能なプログラムとして長く定着しています。

2つ目は食育です。これは裕子先生のお力が大きいのですが、給食指導を通して、栄養面だけではなく食の大切さを各学年に応じて指導していただいています。

そして、3つ目は「いずみタイム(総合的な学習の時間)」です。現在行われている環境、自然体験、福祉、防災、国際交流などの分野での取り組みについて振り返ってみたいと思います。

ユネスコスクールはユネスコ憲章にある理念を実現する学校です。ただ、このことはこれまで本校が長く取り組んできた教育活動と目的が異なるものではありません。それはどちらも、子どもたちの健やかな成長を願って行っている活動であるからです。この機会に、子どもたちにも先生方にもユネスコスクールの一員としての意識を高めていただければ幸いです。

